

平成 24 年度 札幌市医療安全推進協議会 第 2 回基幹会議 議事録(発言要旨)

項目	発言者	発言趣旨
議事(1) 平成 24 年度医療安全講習会等について	事務局 (永井係長)	<p>○平成 24 年度医療安全講習会等の実施結果について概要を説明 (資料 1)</p> <p>1 医療安全講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「事例で学ぶ 医療機関におけるクレーム・不当要求対応」をテーマに、10 月に講演会形式で実施。 ・医療機関の種別ごとに「病院・一般診療所」対象に 1 回、歯科診療所対象に 1 回、計 2 回実施。 ・講師は、札幌弁護士会紛争解決支援センター運営委員会の医療分野に精通した弁護士 4 名。 ・実際の事例を豊富に交えての話、札幌弁護士会医療 ADR の紹介があった。 <p>2 院内感染対策セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、病院看護師を対象に少人数制の参加型セミナーを実施。 ・病院の種別ごとに計 3 回実施 (一般型 (急性期) 1 回、療養型・精神型 2 回) ・講師は、昨年度と同様、北大病院 ICN 奥看護師長及び小山田副看護師長 ・「院内感染対策の改善方策」をテーマに、講義・演習・Q&A を行った。 ・演習では、蛍光ローション等を利用して、紙おむつ交換時の汚染物の付着状況や手洗い方法チェック、環境消毒の必要性についての演習、個人防護具の正しい着脱方法の演習を行った。 ・定員を大きく上回る申込みがあった。 <p>3 「平成 23 年度版札幌市医療安全支援センター事業概要の発行」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年発行している当事業概要の平成 23 年度版を 2 月に 4,500 部発行。 ・今回は、市民相談事例のページを 4 ページ増やして充実し、薬局に関する事例も増やした。 ・全医療提供施設及び関係機関・団体等へ送付予定。
	川畑委員	院内感染対策セミナーに、多数の応募があったようだが、各回 15 名の制約とういのは、会場の関係とか実践を交えるので少人数制なのか、理由は何か。
	事務局 (永井係長)	少人数制にした一番の大きな理由は、演習を入れていること。実際に眼で見てやってもらうので大人数だと難しい。それと、参加者が各現場で抱えている悩みについて事前に情報収集して、当日講師に答えてもらう Q&A を行っているため、少人数制としている。
	小山田委員	講師としては、人数が 15 名ということで、かなりアットホームな形でセミナーができるという部分では、20 名以上となると、ただ見ているだけという人が出てくること

		も予想されるので、15名あたりが妥当かなと思う。ただ、申込者が約70名で、増えているんですね。
	事務局 (永井係長)	申込者数は、前回(初回時)と、ほぼ同じ位だが、今回は前回参加した病院は除外して募集したので、ニーズは結構あるということだと思う。
	小山田委員	ニーズがあるなら、20名ちょっとでも可能かと思う。演習内容を考えながら増やすことは可能だと思う。
	川畑委員	看護協会でも療養型の看護師対象に、このようなことをしているが案内が届かないとか、そのような場合は、このセミナーで少しカバーできると思う。もし可能なら、介護系の看護師からは強く要望があると思うが、何とか1回の講師2名にするなどして対応してもらえると、もう少し療養型の質が上がるかなと思っている。
	松家会長	医療安全講習会の参加者からの意見等は聞いたのか。
	事務局 (永井係長)	毎回アンケートを実施しており、講習内容の満足度・理解度や来年度の希望テーマ等の質問事項を入れているアンケートの詳細な集計が未了なので、来年度の1回目の会議で御報告する。
	松家会長	ADRの話だったので、参加者からどんな話が出たかなと思います、お聞きした。
	事務局 (永井係長)	今回のテーマから、やはり申込者の職種別では、病院・一般診療所対象の時は事務職等が多かったので、例えば医事課や患者相談担当窓口の担当者等、市民からのクレームに一番関わっている方が多かったのではないかと思います。歯科診療所対象の時は、ほとんどが歯科医師だったので、歯科の管理者の方だと思う。

<p>議事(2) 「(仮称) さっぽろ医療ガイド」の作成について</p>	<p>事務局 (永井係長)</p>	<p>○ 「(仮称) さっぽろ医療ガイド」の作成について説明(資料 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ このガイド作成は、さっぽろ医療計画を推進するための取組みの一つとして行うもので、来年度から実際の作成業務に着手する予定。 ・ 市民が身近な地域で安全・安心な医療サービスを選択し、主体的に医療に参加できるよう医療に関する基礎知識等について、わかりやすく情報提供できる冊子としたい。 ・ 現在、想定構成案としては、資料に示したように、主に「市民啓発」部分及び「医療機関情報」部分からなる 2 部構成。 ・ 今回は、特に「市民啓発」部分の内容について、市民に知っておいてほしい基礎知識等、各委員の方々のご経験や専門分野からの情報提供、ご意見等を頂きたい。実際の事例の紹介等でも結構です。 ・ 資料中、事前に送付した「医療ガイド意見集約フォーム」は、あくまで情報や意見集約のための様式で、この様式に従ってガイドを作成するわけではない。今回、提供いただいた情報・意見等は、そのままガイドに掲載するものではないので、ぜひ、色々な情報提供や率直なご意見等をいただきたい。
	<p>事務局 (飯田部長)</p>	<p>補足させていただくと、我々も初の試みであるが、基礎的などころ、自分の医療との関わりとか病院のかかり方を含めて、特に高齢者等がこれから医療の部分で大きくなっていくかと思っている。ただ各世代ごとの悩みや疑問もあると想定されるので、少し幅広だが色々な角度から情報を盛り込めれば良いと思っている。今日ざっくりらんご意見を頂き、それを出来るだけ反映して市民に提供できるような枠組みを考えていきたい。インターネットも一つの手段ではあるが、高齢者等にとっては必ずしも使い勝手が良いものではないので、冊子のようにして保存版にしたいと思う。</p>
	<p>松家会長</p>	<p>以下、資料 2 「医療ガイド意見集約フォーム」に沿って、協議し、各委員からの情報提供・意見交換があった。 ※内容は、別添「第 2 回基幹会議 議事録」のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「全体構成」・「市民啓発のキーワード」 2 「外来編」 3 「入院編」 4 「診療科別編」 5 「医療機関の役割分担編」 6 「お薬編」 7 「医療に関するミニ知識編」 8 「よくある質問 Q & A 編」

		※ <u>提供された情報・意見は、別添「医療ガイド意見集約フォーム」集約版に記載（会議後に集約フォームを回収し、各委員のフォームに記入事項も併せて記載）</u>
--	--	--